

開催日時	平成 28 年 11 月 15 日（火） 18：00～19：30
開催場所	コアかがやき（研修室兼学習室）
参加人数	11 人
出席議員	畑中優周 副議長（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員） 梅津則行 議員（議会運営委員会委員、民生福祉常任委員会委員長） 村上和繁 議員（総務文教常任委員会委員会副委員長、議会広報特別委員会委員：司会） 酒巻勝美 議員（経済建設常任委員会委員） 渡辺慶藏 議員（都心部市街地整備特別委員会委員長）
質疑応答の内容	<p>意見：富貴紙の質問は、大変よい質問であったが、答弁で踏の皮だけで作られているような説明があった。全て踏で作られていないと思うので説明する際は注意したほうがよいのではないか。</p> <p>酒巻：踏の繊維だけでできているとは説明していないが、今後の参考としてお聞きしたい。</p> <p>問：公営住宅の空き家が目立つ。美原地域ではピーク時で 12,000 人ほどいたが、現在は 8,000 人を割っている。地域の活性化や市有財産の有効活用の面からも、公営住宅をもっと活用すべきではないか。</p> <p>酒巻：市営住宅の空き家については、現在、戸数管理をしながら計画的に補修を進めている。また一方で、希望しても入居できない人もいて、公募の方法等を改善するなどして進めている。予算の関係もあるが、そういった意見があったことを受け止め、引き続き議会で議論していきたい。</p> <p>問：3 市町が合併し 10 年以上経過するが、合併当時に描いたまちづくりに対する評価と反省を、議会としてもしっかりと検証してもらいたい。音別町が取り残されているようにも感じる。</p> <p>村上：合併後の検証については、行政側で合併後 5 年、10 年の節目で 2 度行っている。合併時の約束事項は概ね進んでいるが、音別地区も阿寒地区も人口減少が進んでいる状況である。議会</p>

	<p>としても3市町バランスのとれた発展に向け努力したい。</p>
<p>問：新観光振興ビジョンの話があったが、観光の面で音別地区の特産品や旧尺別炭鉱の遺産を活用できないか。</p> <p>酒巻：音別地区の特産品については地域振興の観点から議会で盛んに議論されている。引き続き地元の資源を活用できるように議論していきたい。</p>	
<p>問：ハザードマップで10mの津波を想定しているが、20mの津波が発生する可能性もある。そうなればこの辺りも浸水するが避難場所はどうなるのか。</p> <p>村上：国から示される新たな津波の想定により、市のハザードマップを見直す予定であるが、まだ国から想定が示されていない。津波避難所については、民間ビルを一時避難所として契約するなど、避難人口に見合った内容で拡充を進めている。</p>	
<p>問：新図書館の賃貸契約に関しては可決したのか。また賃料は年間どのくらいなのか。</p> <p>村上：昨年1月に民間ビルに入居するというので、内装は市で行うことになるので、その設計に係る予算を議決した。賃料は月額で約1,424万円、年額で約1億7,000万円。そして30年で約51億2,600万円である。</p> <p>問：その他に造作の費用がかかるということか。</p> <p>村上：造作費が約13億円である。</p> <p>問：そうすると30年で約64億円かかるということと理解した。今の図書館の規模で新たに建て直した場合はいくらかかるのか。</p> <p>村上：市が行った試算では、間借りした場合は約65億円、市独自で建設した場合は約71億円であった。</p> <p>問：今ある図書館と同規模での試算か。また今の図書館に加えて、何か機能が付加されているのか。</p> <p>村上：今度、図書館を作る場合は文学館を併設することになる。場所は市の中心部で、津波対策も必要になるという想定である。</p>	

	<p>現在の図書館よりも広くなり、さらに文学館のスペースができる。</p> <p>問：民間ビルの何階を借りることになるのか。</p> <p>村上：3階から7階を借りることになる。</p> <p>問：市の試算である71億円は市民に公表されているのか。</p> <p>村上：市からは市民にもお知らせすると聞いている。</p>
	<p>問：議員は自らの町内を歩いているのか。この付近の歩道は、いたるところにくぼみがあり、車道を歩かなければならない箇所もある。特に美原小学校の校門前の歩道が5cm以上掘れており、5～6年修復されていない。市の担当部署に告げて全市的に点検し修復してほしい。</p> <p>酒巻：議員28名それぞれが議員活動などを通じて地域の状況を把握しているものと思っている。歩道の話であるが、予算があり優先順位を付けて取り組んでいるが、学校や医療施設などは優先されるべきなので、担当課にしっかり伝えたい。</p>
	<p>問：市内のいじめ問題について、市教育委員会から発生件数などの報告を受けているのか。自殺に至る事例はないが、学校ごとにしっかり調査すべきである。</p> <p>村上：市教育委員会からいじめに関する報告を受けている。大津のいじめ事件から法律が変わったことで、市もいじめ防止のための計画を作成する準備を進めているところである。また、議会でもいじめ問題については積極的に質問をしているところであり、引き続きしっかり取り組んでいきたい。</p>
	<p>問：図書館やフィットネスセンターのプール、鉄道高架など市民の間で意見が割れる問題となる場合は、いつまでも議論し続け、決定できない状況がある。まちづくりの手法として、期限を決めて議論し決めるというルールをつくる必要があると考える。</p> <p>畑中：釧路市を良くするために、こういった方法が最善なのかということを議員それぞれが考えや意見をぶつけ合って議論するのが議会である。ご理解いただきたい。</p> <p>意見：釧路港を生かしたまちづくりとして、釧路地域に屠畜場の</p>

	<p>設置を進めていくべきだと考える。</p>
議会への 意見・要望	<p>問：政党看板を公共用地に設置してはいけないとマスコミ等でも報道されている。昨年の議会報告会の場でも指摘し、改善すると答えていたが、今回の選挙においても公共の場に設置していた。また、障がい者就労支援事業所に政党看板の設置を委託した結果、公共用地に設置されていたケースも見受けられた。市民の見本となるのが議員でありルールを守ってほしい。</p> <p>畑中：正当な場所に看板を設置するよう議員が集まる場で確認し、正していきたい。</p> <p>酒巻：一部業者との確認違いがあり誤って設置した。ご理解いただきたい。</p> <p>村上：指摘は深く受けとめる。選挙のためやむを得ず設置したが、このことで厳しい指摘や批判をいただいている。今後重々検討していきたい。</p> <p>意見：検討ではなく、ダメなものはダメである。肝に銘じてほしい。</p> <p>問：議会報告会の参加者数が少ない。良い取り組みであり市民のためにもなると思うので、PRの方法を工夫すべきである。</p> <p>村上：周知方法については、公共施設にポスターを掲示したり連合町内会にチラシの配付を依頼したり、議員による声かけなどをして、参加を呼び掛けているが、結果について重く受け止めている。多くの人に集まってもらえるよう今後も努力していきたい。</p>
市への 意見・要望	<p>問：地区会館にあるバーベキューコンロを使用するために、市の公園緑地課に直接行って申請しなければならない。釧路町は電話連絡でよい。支所でも申請できるようにならないか。</p> <p>酒巻：施設を管理する面から、そういった対応をお願いしている。利便性の観点について意見があったことを持ち帰りたい。</p>